

令和3年(2021年)5月20日

農作物生育・技術情報1号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1 水稲の生育状況 (5月15日現在)

●生育状況調査 (中苗: ななつぼし)

区分	草丈 (cm)	葉数 (葉)	茎数 (本/m ²)	遅速 日数	備考
R3年	10.7	2.8	—	±0	
平年値	10.3	2.8	—		
差	+0.4	0.0			

- 苗の生育は概ね平年並みですが、5月上旬の一時の高温等により、若干徒長傾向なものが散見されます。
- 移植は例年並みに始まっていますが、移植後の低温に備えるため、目標葉数を確保(中苗→3.1葉以上)したら、昼夜ハウスを解放し、積極的に外気に慣らしましょう。
- 育苗日数が長くなることが予想されるハウス(成苗、中苗とも、は種から移植までの日数が35日以上になる場合)では、老化苗対策として追肥を行ってください。
- 活着や分けつの善し悪しは水温に左右され**
活着限界温度は11~13℃とされています。
水温を確保するために入水は夜間から早朝に行い、日中は止水にしてください。
- 軟弱・徒長苗は、活着や分けつ力が通常の苗より劣るため、より水温の確保を心がけて下さい。
- ほ場に高低差があり、苗が水没する場合は2~3日ごとに水深を変えましょう。
- 早期分けつ確保のため、活着後は晴天の日を選んで浅水管理とします。

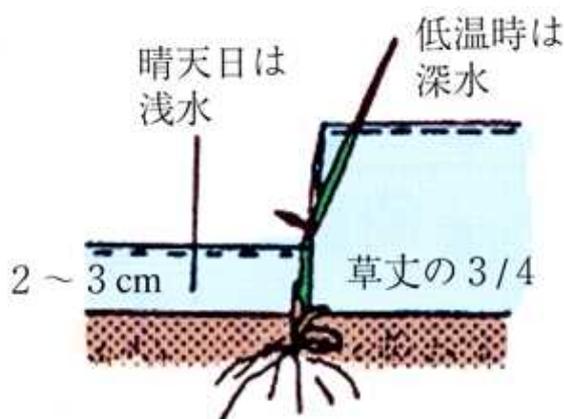


図 水深の目安

2 畑作物の栽培管理

- 秋まき小麦: 粒重・タンパクの充実を図る時期です。
適正な分追肥により品質、収量の向上を目指しましょう。

【施肥窒素量】「ゆめちから」

止葉期 ☞ 4~6 kg/10a (硫安30kg/10a) ※上位茎数が900本/m²を超える場合
2~3 kg/10aに抑える

- 豆類: は種作業
地温10℃以上確保でき、降霜の恐れがなくなったらは種時期です。晩霜に注意し適期は種に努めましょう。

3 主要野菜の生育状況と技術対策

生育状況や草勢にあわせた追肥とかん水管理をしましょう。

作物名	生育状況	技術対策
トマト	3月定植 ・1～2段果房収穫中。6～7段開花 ・かいよう病、加里欠、苦土欠が一部で見られる 4月定植 ・4～5段花房開花中。	・葉の黄化、しおれ等が見られた場合はJA、普及センターに連絡する
ハウス軟白ねぎ	・12月定植収穫中 ・タマネギバエが見られる	・育苗期から防除を行い定植ハウスへ病害虫の持ち込みを防ぐ ・粘着板を設置し早期防除に努める。 ・ハウス内外の除草（クボホ、白クバなど）を徹底する
ハウス立茎アスパラガス	・春芽収穫～立茎移行期。 ・病害虫の発生は特に見られない	
かぼちゃ	・定植準備～定植中	・地温を確保するため、施肥およびマルチの被覆は、定植7日前までに行う ・定植ほ場の地温は、深さ15cm程度で最低15℃以上を確保する

4 畜産 飼料作物生育状況 (5月15日現在)

牧草	草丈	32.4cm (+1日)
飼料用とうもろこし	は種始	5月10日 (+2日)

(1) 飼料用とうもろこし

ほ場条件や発生雑草等を把握し、土壌処理、雑草茎葉処理などの用途にあった除草剤を選定し、適切に使用しましょう。

(2) 家畜飼養

- ①農場畜舎への外部から（人、物、車両）の出入りを制限し、畜舎の各入口には必ず踏み込み消毒槽を設置しましょう。
- ②畜舎内は清掃と石灰塗布を行うなど、衛生対策を徹底しましょう。
- ③サイレージの変敗に注意し、カビや不良発酵を起こしている部分を取り除いて給餌しましょう。
- ④乳検の検定日速報で、デノボ脂肪酸（デノボFA）・プレフォーム脂肪酸（プレフォームFA）が確認できるようになりましたので活用しましょう。

- ・デノボFAは、粗飼料のルーメン発酵で生成される脂肪酸です。
- ・プレフォームFAは、濃厚飼料や牛の体脂肪に含まれる脂肪酸です。
- ・デノボFA%が高い場合は、栄養管理・飼養管理が良好で粗飼料の分解が盛んな証拠です。
- ・プレフォームFA%が高い場合は、DMIが不足し体脂肪動員、濃厚飼料の油脂類多給が疑われますので、飼料給与改善のサインになります。
- ・分娩後60日以内でデノボFAが22%未満、プレフォームFAが50%以上、分娩後61日以降でデノボFAが28%未満、プレフォームFAが40%以上の牛がいないか確認しましょう。